

# 平成22年度事業計画

平成22年4月 1日より  
平成23年3月31日まで

本年1月に、民法特例法人から公益法人への移行申請を行いました。国が所管する民法特例法人の数は約6900団体あり、これらが平成25年11月末までに、公益法人或いは一般法人に移行することが法律に定められています。当協会の申請は現在審査中で、内閣府担当官からは、「定款の修正」と「代議員の選任」が求められており、これらが整えば公益認定等委員会に付議され、移行の可否について判断が示される事となります。この結果に基づき公益社団法人或いは一般社団法人としての登記を経て新法人となりますが、いづれにしても、本総会で承認された定款に従い事業活動を実施することとなります。

事業活動に関しては、別紙の通り昨年と同様の事業を実施いたしますが、新制度への移行に伴う組織変更が本来の協会活動の支障とならないようにするため、各事業の所管は昨年度と同じとなっています。

新組織では協会の中・長期的戦略の検討を担当する、“経営審議会”が設置されることとなっており、今年度からはこの中・長期戦略に基づいて、新規事業の追加や既存事業の見直し等が各所管部署で始まります。

別紙に記載した個々の事業は、それぞれ所管する支部、部会及び委員会等の責任において実施することは従来どおりですが、経理処理については予め届け出た事業区分ごとに集計することが求められており、本年度の予算書はこれに従っています。

内容の充実と参加者増加のための工夫が全ての事業活動で必要であることは言うまでもありませんが、本年度の事業の内、11月に大阪で、秋季シンポジウムと併せて開催される第3回国際セラミックス会議（ICC3）が、通常の間とは異なる行事となります。

この国際会議は国際セラミックス連盟（ICF）が、2年に1度、北米・欧州・アジアの3地域の持ち回りで開催するもので、第1回はトロント、第2回はヴェロナで開催されており、世界各国からセラミックス分野の研究者が集まる学術集会となっています。

また、出版に関する事業では学術論文誌のアジア版への拡大の検討や、協会誌「セラミックス」に連載しておりましたセラミックス・アーカイブスの英語版出版の準備を進めております。

管理に関する事項では、昨年度に会員システム及びサーバーの更新を実施し、事務局業務の中核部分の整備を完了いたしました。今年度は、昭和41年に建築され、耐震診断の結果“問題あり”と判定された協会ビルの耐震補強工事に着手し、これに合わせてガラス窓面の断熱工事を実施いたします。これらの工事は旧特別会計の財政強化特別基金を使用することで、本年度予算に織り込みました。事務局人員は本年3月末の1名退職をもって減員計画は一段落致しました。

先行き不透明な経済情勢もあって、会員の減少すなわち会費収入の減少に歯止めがかかりませんが、協会の活動がシュリンクすることのないように資源の配分に配慮し、更なる管理費の圧縮にあわせて、各事業の収益構造の改善をはかり財政の健全化に取り組みます。

## 主な事業計画

行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICC 3 (2010年11月14日～18日 グランキューブ大阪)</li> <li>・ 2011年年会 (2011年3月16日～18日 静岡大学(浜松キャンパス))</li> </ul>
出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Journal of the Ceramic Society of Japan 毎月発行12冊/年。印刷部数毎号 5,200部、総頁 1,400頁。</li> <li>・ セラミックス誌 毎月発行合計12冊。 印刷部数毎号 5,500部、総頁 1,000頁。小特集～大特集、セラミックスレビュー、ほっと spring、セラミストのための知恵袋、トピックス</li> <li>・ 発光・照明材料(仮名)2010年日刊工業新聞社発行</li> <li>・ アーカイブズ出版</li> </ul>
教育・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ セラミックス大学2010 計7回講義</li> <li>・ 高校課題研究フォーラム</li> <li>・ 高等学校生徒セラミックス作品展</li> </ul>
表彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第44回(平成22年度)セラミックス賞</li> <li>・ 第65回(平成22年度)日本セラミックス協会賞</li> <li>・ 2010JCerSJ 優秀論文賞</li> <li>・ 第7回(平成22年度)協会活動有功賞</li> <li>・ 国際交流奨励賞(21世紀記念個人冠賞(倉田賞、井関賞),日中セラミックス科学・技術交流奨励賞)</li> </ul>
標準化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JIS 見直し</li> <li>・ 窒化けい素認証標準物質作成</li> </ul>
広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協会ホームページ英文コンテンツの強化</li> </ul>

### 1. 会議開催計画

1) 理事会 6回(5月、6月、7月、11月、平成23年1月、3月、)

#### 2) 委員会(開催数)

財務審議会	1	教育委員会	3
予算等関連委員会	2	標準化委員会	3
運営企画委員会	4	規格更新小委員会	3
行事企画委員会	5	出版委員会	6
年会・行事サービス小委員会	5	戦略WG、啓発WG 電子化WG	各6
秋季シンポジウム小委員会	5	アーカイブズWG	10
JCerSJ 編集委員会	12	次期役員候補者推薦委員会	1
タイトルサービス小委員会	1	協会賞選考委員会	2
優秀論文賞選考委員会	1	功労賞選考委員会	1
セラミックス誌編集委員会	9	セラミックス賞選考委員会	1
科学・技術研究委員会	2	情報委員会	3
国際交流委員会	2		